

ウメ・モモ・スモモなどを栽培・販売 (苗木・鉢植えを含む)される皆さまへ

～ウメ輪紋ウイルスへの対策にご協力をお願いします～

ウメ輪紋(りんもん)ウイルスとは・・・

- ウメ、モモ、スモモなどに感染する植物ウイルスの一つで、PPVとも呼ばれます。
- 園地の樹だけでなく、庭木や鉢植え等の鑑賞用の樹も感染の可能性があります。
- このウイルスに感染した植物を治す方法は、今のところありません。
- このウイルスに感染すると、果実の品質低下などが発生する恐れがあります。

症状は・・・



ウメ

葉にドーナツ状の模様や、緑色が抜けた斑紋が現れます。



モモ(植物防疫所原図)

葉にドーナツ状の模様や、緑色が抜けた斑紋が現れますが、5月頃を過ぎると判かりづらくなります。



スモモ

このような症状を見つけたら下記までご連絡下さい。

県庁 農業環境・鳥獣害対策室 :073-441-2905

どうやって感染するの？

- このウイルスは、アブラムシによって伝搬されます。
- また、ウイルスに感染した台木や穂木を使った接ぎ木でも感染が広がります。
- 感染した苗木、鉢植えや切り枝等の流通により、感染源が拡散することになります。

※剪定作業で感染することはありません。

※果実や種子を介して感染が広がることはありません。

人への影響は？

- このウイルスは人や動物には感染しないので、感染植物の葉を触ったり、果実を食べても健康に影響はありません。